



6月5日は「環境の日」(世界環境デー)、6月は環境月間です!

毎年6月5日は、1972年6月5日からストックホルムで開かれた「国連人間環境会議」を記念し、「環境の日」(世界環境デー)とされています。そして、この日を含む6月の1か月間は、国民の環境の保全に関する理解を深める「環境月間」となっています。

誰でも、今すぐに、簡単にできることで、環境問題の解決につながることはたくさんあります。

地球温暖化対策(温室効果ガス削減)、生物多様性の保全、ごみの減量化・資源化などの取り組みへのご理解とご協力をお願いします。



1 私たちができる地球温暖化対策(温室効果ガス削減)

Table with 3 main sections: I. Air conditioner usage, II. Lighting in rooms, III. Reducing heat loss. Each section includes a topic, a strategy, and a list of actions.

大磯町も地球温暖化対策に取り組んでいます!

■ エネルギー講演会を実施しました!
町民をはじめとする多くの皆さんに、地球温暖化の現状や省エネルギー・再生可能エネルギーの必要性について知っていただくため、令和5年度は「おうちの断熱やらなきゃ損! DIYで手軽にできる断熱!」をテーマに、手軽にできるDIYの実演を含めた、地球温暖化対策という観点から見た、断熱の目的や効果について講演していただきました。

■ LED照明への転換
町では、省エネルギー改修に係る全ての経費を光熱水費の削減分で賄う事業(ESCO事業)の活用により、令和5年度中に全ての道路照明灯と公園照明灯をLED照明に更新しました。LED照明は、水銀灯等と比べると消費電力は約4分の1と言われており、省エネのほか、電気代の削減や照明器具の長寿命化にも寄与しています。

2 私たちができる生物多様性保全

多様な生きものが互いに関係しながら暮らしていることを「生物多様性」といいます。私たち人間が日々の暮らしに必要な食料や水などをはじめ、気候や川の水量の調整、水質を浄化する機能、レクリエーションの場や癒し効果を与える心理的なものなど、これらは全て生物多様性の恵みによるものです。私たちは、生物の多様性を保全し、そのもたらす恵みを将来にわたり受け取ることができるよう、次の世代に引き継いでいく責任があります。

大磯町の自然環境の保全のために様々な活動をしている方々がいます。

- 谷戸川溪谷をきれいにする会 -
オオルリが飛来し、湧水流れる谷戸川周辺を本来の自然に戻す活動を行っています。放置竹林の整備や倒木の除去、潜在植生の復活など、中高大学生たちを含む町民の皆さんと一緒に進めています。

- 大磯古道山道つなげ隊 -
コンクリートを使わずに古来からの土木を行う専門家集団を招き、日本各地から参加したボランティアと町との協力により、西小磯の穴虫地区の町道の改善工事を行いました。

昆虫研究家の渡辺 康生さん(国府新宿在住)に聞いてみました!
自然に恵まれた大磯町は植物の種類が多く、丹沢山系にも近い昆虫の種類が豊富で町外から研究者が調査に訪れるような素晴らしい場所です。



町では町民向けに自然体験のイベントなどを実施していますので、ぜひご参加ください。
川の観察会: 毎年7月末ごろに実施し、葛川水域に生息する生物の観察会を実施しています。

3 私たちができるごみの減量化・資源化

「4R」とは、ごみを減らし環境への負荷を減らす取り組みのキーワードの頭文字です。これらの行動を実践することで、ごみ問題への対応・循環型社会の構築を図ろうとするものです。日常生活の中で「4R」を意識し、できることを無理なく、楽しみながらコツコツ続けることが大切です。

Refuse (リフューズ)
ごみを減らすために一番大事なことは、いらぬものをもらわないこと
・マイバッグを持ってレジ袋を断ろう!
・使わないプラスチック製のスプーンなどを断ろう!

Reduce (リデュース)
ごみを減らす
まずはごみにしないこと、次にごみが少ないものを選ぶ
・食品は必要な分だけ買おう!
・詰替え用の製品を選ぼう!

Reuse (リユース)
再利用
自分では使えなくても、他の人が使える方法を考えよう
・まだ使えるものは、もう一度使おう!
・リサイクルショップやフリーマーケットを利用しよう!

Recycle (リサイクル)
再資源化
リサイクルは最終手段、まず他の3つができないか工夫してみよう
・資源ごみはしっかりと、分別して、リサイクルに協力しよう!